

令和7年度 よつば1組 学級経営案

男 5 人 女 0 人 合計 5 人 担任 佐無田 千春

学校教育目標

ふるさとを愛し、一人一人が輝く
徳・知・体の調和のとれた児童の育成

- 【なかよく】 思いやりをもち、助け合う児童
- 【かしこく】 進んで学び、よく考える児童
- 【元気よく】 たくましく、ねばり強い児童
- 【ふるさと】 郷土に学び、郷土を愛する児童

湯前っ子5つのすがた「あいうえお」
あ 明るいあいさつ、大きな返事
い いい聞き方、目、耳、心で
う 美しい場所、もくもくそうじ
え 笑顔の言葉、思いやり
お 落ち着いた生活、守ろう時間

学 級 目 標

- 相手の気持ちを尊重した言葉かけができる児童
- 話を最後まで聞き、課題に粘り強く取り組むことができる児童
- 元気のよい、先取りあいさつができる児童

具 体 的 な 取 組

評 価

I II III

目指す児童像	かしこくな確かな学力	1 実態に応じた個別での学習を通して、基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。 2 仕切りやイヤーマフの活用により、集中して学習できる環境をつくる。 3 週に1回、朝の会で読書の時間を設けることで、本に親しみをもち、読解力向上を図る。		
	な豊かな心	1 計画的にソーシャルスキルトレーニングを行い、場や相手に応じた言動ができるようにする。 2 交流学級の友達と共同学習する場を計画的に設定することで、多くの人と関わる環境をつくる。 3 帰りの会に整理・整頓の時間を設けることで、物を大切にする心を育てる。		
	元気な健身体	1 自立活動の時間に体を動かす活動を行うことで、体力の向上を図る。 2 昼休みに、声掛けすることにより、外遊びの習慣化を図る。 3 朝食の摂取や就寝・起床時刻の確認を通して、規則正しい生活習慣の定着を図る。		
	郷土愛	1 交流学級での総合的な学習の時間、生活科の学習を通して、自分が住む郷土のよさを感じることができるようとする。 2 現地見学や体験学習を実施し、自分が住む郷土のよさを実際に体感することができるようとする。		
	特別支援教育	1 写真やカード等の視覚支援を行い、学習の理解を図る。 2 実態に応じて個別に家庭学習の内容を調整することで、基礎学力の定着を図る。 3 帰りの会で、自分や友達の頑張りを発表する場を設けることで、自他のよさを認め合うができるようとする。		

学期評価（達成状況 達成← 4、3、2、1 →未達成）